

## 「新しい未来」を切り拓く技術 New Normal DX。

- / New Workstyle DX - 共進化する「場 (ba)」 -
- / New QOL DX - ライフとワークが重なるコモン -
- / New Sanitation DX - 公衆衛生を維持する仕組み -
- / New Gathering DX - 間合いをとるテクノロジー -

## 「新しい未来」を切り拓く技術 –New Normal DX–

新型コロナウイルスを契機として、当たり前前のようにおこなっていた「働く」ということが大きく変わろうとしています。

与えられた「ニューノーマル」を受け入れるだけでなく、私たち自身が「ニューノーマル」を切り拓いていくことが大切だと、竹中工務店は考えます。

そこで、皆さまと一緒に「ニューノーマル」を切り拓いていくために、竹中工務店の技術開発の方向性を共有いたします。

### 技術開発の方向性 = New Normal DX の実現

- New Workstyle DX 共進化する「場 (ba)」
- New QOL DX ライフとワークが重なるコモン
- New Sanitation DX 公衆衛生を保つプログラム
- New Gathering DX 間合いをとるテクノロジー



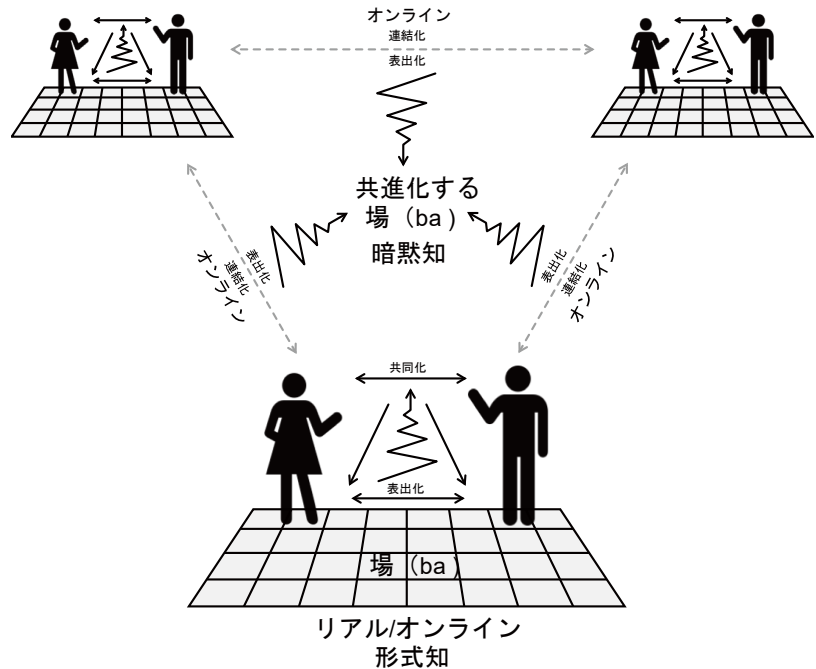
竹中工務店が目指す New Normal DX

## New Workstyle DX — 共進化する「場 (ba)」 —

コロナによる脅威が次々と押し寄せる中で、多くの人々が「働き方」を考え、見つめ直しました。その中で私たちは、リアルであってもオンラインであっても、働くときには「場 (ba)」がとても大切だということを再認識しました。

場 (ba) とは、相互作用しあう人々によって共有されるコンテキストであり、その相互作用を通じた自己超越と知識創造によって、参加者と場 (ba) は共進化していく、と指摘されています。

私たち竹中工務店は、デジタルツイン、臨場感通信、アバター、感情認識・センシング等の革新的なテクノロジーがもたらすデジタルトランスフォーメーションと空間とを統合することで、ニューノーマルなワークスタイルを支える未来の「場 (ba)」を実現します。



Nonaka & Konno (1998) を翻訳・改変

\*1) Nonaka, I., & Konno, N. (1998). The concept of "Ba": Building a foundation for knowledge creation. *California Management Review*, 40(3), 40-54.

## New QOL DX — ライフとワークが重なるコモン —

コロナ禍での在宅勤務やテレワークを通じて、私たちは「働く」と「暮らす」の関係性を学び直すことができました。

ポストコロナ社会では、新たなリテラシーを学んだ都市生活者が、「働く」「暮らす」の多様なアクティビティを都市の「コモンスペース」に分散させ、それらを相互に重ね合わせていこう。

竹中工務店が進めてきた「健築®」コンセプトに基づく空間づくり・まちづくりをベースとして、建物内部から屋上、半外部/外部空間、街路、公園等へとひろがる都市の「コモンスペース」を「リデザイン」するため、① 交流を深める「近接性・開放性」、② 身体活動を促す「ウォークアビリティ」、③ 感性を刺激する「バイオフィリア」、3つの空間特性を向上させる技術開発に取り組みます。

### 「健築®」コンセプトから導出される QOLを向上させる3つの空間特性



「健築®」webサイト <https://kenkou-kenchiku.jp/>

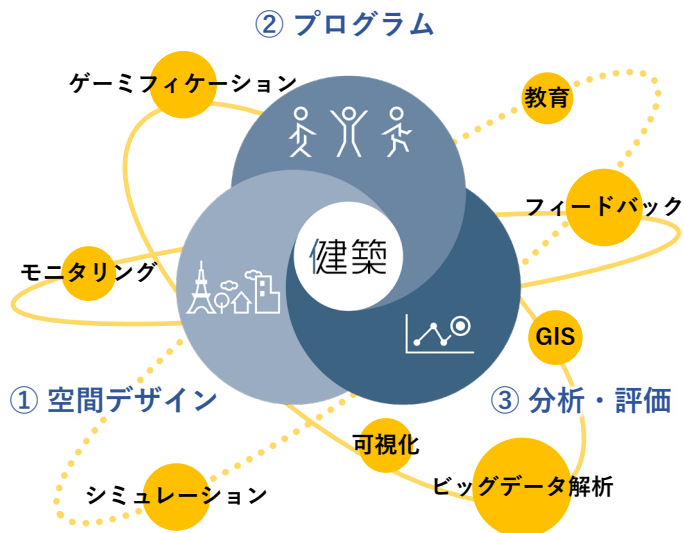
## New Sanitation DX – 公衆衛生を維持する仕組み –

コロナのさまざまなインパクトは、都市計画学と公衆衛生学の“古くて新しい”関係にあらためて光を当てています。

都市計画と公衆衛生の新たな関係をベースとして、持続的に公衆衛生を改善させていく仕組みを社会にインストールしていく必要があります。

竹中工務店は「健築®」コンセプトに基づき「人と寄り添う空間づくり・まちづくり」として3つのアクションを掲げています。これをベースとして、未来の「公衆衛生」の実現に向けて、① シミュレーション／予測に基づき構築される空間デザインに、② ゲームフィケーションや教育を組み込んだプログラムが提供され、③ ビッグデータ解析／可視化技術を基盤とする分析・評価に基づき継続的にマネジメントされる社会システムの構築を目指します。

### 「健築®」コンセプトから導出される公衆衛生を維持する3つのアクション



「健築®」webサイト <https://kenkou-kenchiku.jp/>

## New Gathering DX – 間合いをとるテクノロジー –

都市では集積が進むことで、さらに集積が発生して、「集積の経済」がより大きくなるという循環が生まれます。さらに、多様な人が集うことで、新しい何かが生み出されることの期待が高まります。

Afterコロナ社会の都市においては、高度な集積を目指すだけでなく、人々が向かう場所、移動するタイミングなどを適切にコントロールすることで、物理的な距離を確保しつつも、心理的・社会的距離を縮め、人々の知識やスキル、想いや熱量を集積させていく社会システムが必要です。

私たち竹中工務店は、都市における新たな「集積」の実現に向けて、① 時間的な「間合い」をとるための人流の把握・分析技術、② 時間的な「間合い」をとるための生活リズム・ライフスタイルの把握・分析技術等、「間合い」をコントロールするさまざまな技術の開発に取り組んでいきます。

### 空間的／時間的な「間合い」のコントロール

